



2017 伝承ホール寺子屋

カブキ踊り 渋谷金丸伝説

10月4日に公演が行われた8回目となる創作カブキ踊り「渋谷金丸伝説」。文化総合センター大和田さくらホールで、伝承ホール寺子屋の塾生たちが花形歌舞伎役者・市川染五郎さんと「渋谷カブキ音頭」カブキぼん!ダンス」を披露しました。

渋谷でわづく! 金丸の活躍を新しい伝統芸能のスタイルで魅せる

花形俳優と区民が創る、文化事業の理想型を目指して

区吉例の「渋谷金丸伝説」公演もめでたく8年目となりました。染五郎さん名義最後の舞台ともあって、大熱演。これからも花形俳優と区民が創る、どこにもない文化事業の理想型を目指します。



渋谷区長 長谷部 健(左)
プロデューサー 鈴木英一氏(右)



▲市川染五郎さん(中央)が日本舞踊・常盤津「老松」を披露。



▲過去の公演の舞台裏エピソードが語られました。



▲左から尾上菊之丞さん、市川染五郎さん、尾上京さん。



▲友好珍獣ピグモンも参加。「カブキぼん!ダンス」と一緒に踊りました。

再演をしないことをモットーにしているカブキ踊りですが、この日は特別に第1回からの名場面を公開。当時の様子出演者の市川染五郎さん、尾上菊之丞さん、尾上京さんと共に振り返りました。その後「憤怒」をテーマに、2017年版のカブキ踊りを披露。最後には稽古を重ねた伝承ホール寺子屋の塾生約100人がステージに上がり、出演者全員で元気いっぱいに踊りました。

「渋谷金丸伝説」とは・・・

渋谷を開拓したといわれるヒーロー「金丸」。江戸時代には歌舞伎十八番にも正義の味方として登場した金丸の活躍を、市川染五郎さんが「カブキ踊り」という新しい伝統芸能のスタイルで演じています。主に和楽器を使った現代音楽による、リズムカルで躍動的な振りが次々と展開。激しく、美しい踊りで、毎年多くの観客を魅了しています。



伝承ホール寺子屋

1年を通して、演技・邦楽・舞台美術・歌舞伎・能楽・落語などを学習・体験できる多彩なプログラム。その分野を代表する講師陣から直接指導が受けられ、伝統芸能を総合的に学ぶことができます。「伝統芸能プログラム」と「カブキ体験プログラム」があり、ジュニアとシニアと一緒に楽しく日本の文化を学ぶ機会にもなっています。



観客の声

来年は私も一緒に踊りたい!

息子が毎年参加していますが、成長の様子が見られてうれしいです。

幼稚園のときのお友だちが参加していたので見に来ました。とても上手でした。

参加者の声

みんなで一つになって踊る達成感があります。

稽古のときは小さい子の面倒をみています。

先生も親切だし、舞台に立つのが楽しいです。

伝統芸能に触れる良い機会になっています。

初回公演から参加しています!

問文化総合センター大和田ホール事務局 (☎)3464-3251 (FAX)3464-3289